

会 議 録

- 1 会議の名称 令和5年度 第3回妙高市介護保険運営協議会
- 2 開催日時 令和6年1月22日（月）18時30分から20時00分まで
- 3 開催場所 妙高市役所 402会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 丸山明則（委員長）、太田智英（副委員長）、長谷川早苗
五十嵐加代子、片所昭夫、岩浅愛子、関睦美
佐々木由美子、長澤芳夫、内田次美、安原源司
※欠席：丸山靖、水口悟、高橋芳夫
 - (2) 執行機関 [福祉介護課] 田中かおる、丸山孝夫、小林英彦、池田浩之
原田浩成、古川歩、山崎名歩子、
池田博行、遠藤郁生、道下啓子
 - (3) 傍聴者 なし
- 5 議題
 - (1) 第9期妙高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について
- 6 会議資料の名称
・資料 第9期 妙高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- 7 発言の内容
 - (1) 第9期妙高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について

委 員	まなびの杜の受講者数は第9期目標で増加を見込みだが、新型コロナウイルスが5類へ移行により、増えていくという認識でよいか。
執行機関	そのとおりである。受講者数が増えていくと見込んでいる。
委 員	地域住民への在宅医療・介護の普及啓発では、第9期目標で人生会議に関する普及啓発とあるが、第8期中は行っていなかったか。
執行機関	第8期中では出前講座等を実施している。健康な時から自分の将来を考え、高齢になっても健康でいることの大切さを周知するよう、人生会議に関する普及啓発の実施回数をあげている。

委員	居宅サービス、訪問介護サービスの見込みについて、ホームヘルパーの人材が不足していると聞くが、現状を維持できるか。
執行機関	実際の担い手が少ない。事業所の増加は見込めず、人材確保に課題がある。現状のサービス維持を見込んでいる。
委員	通所介護（デイサービス）の利用について、令和5年度は計画値が535人に対し、実績見込は361人である。令和6年度以降の目標について下がっていくようだが、下げた理由はどのようなか。
執行機関	通所介護（デイサービス）については認知症対応型からの移行を見込み、令和5年度実績値より令和6年度以降の計画値は多い数値としている。また第8期において、地域密着型への転換があり計画値よりも少ない実績となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響やその他の理由もあると捉えている。
委員	予算について不足はしないか。第8期において計画と実績はどのようなか。
執行機関	令和元年の実績数値を踏まえて第8期計画を策定した。約3億9,000万円を基金に積み立てた。第9期計画において、基金を取り崩し介護保険料の減額について試算をしたが、令和22年の試算では介護保険料が大幅に増額する見込みとなった。介護保険料が増額に転じるタイミングで基金の取り崩しを検討していく。
委員	第9期介護保険事業計画では、介護保険料の基準額が82,800円で第8期と同額で見込まれている。第8期は、多少の余裕があり基金を積み立てたが、将来に備えて据え置きを考えが示された。第10期以降は高額所得者の介護保険料を増額してはどうか。
執行機関	妙高市内においては、高額所得にあたる介護保険料の段階に該当するかが少ない。試算の結果、高額所得者の介護保険料の段階において細分化を行うことは有効な振り分けとならない。

8 その他

- ・今後のスケジュールについて ※事務局にて口頭説明

上記に相違ないことを確認する。

令和 6 年 3 月 13 日

氏名 妙高市介護保険運営協議会委員長

丸山明則